

全般季節予報支援資料 1か月予報

2025年3月20日

予報期間：3月22日～4月21日

この資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

特に注意を要する事項

全国的に、期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。西日本と沖縄・奄美では、2週目に気温がかなり低くなる所があり、期間の前半は気温の変動が大きいですでしょう。

出現の可能性が最も大きい天候

北日本日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。
東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
北・東・西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

全般1か月予報

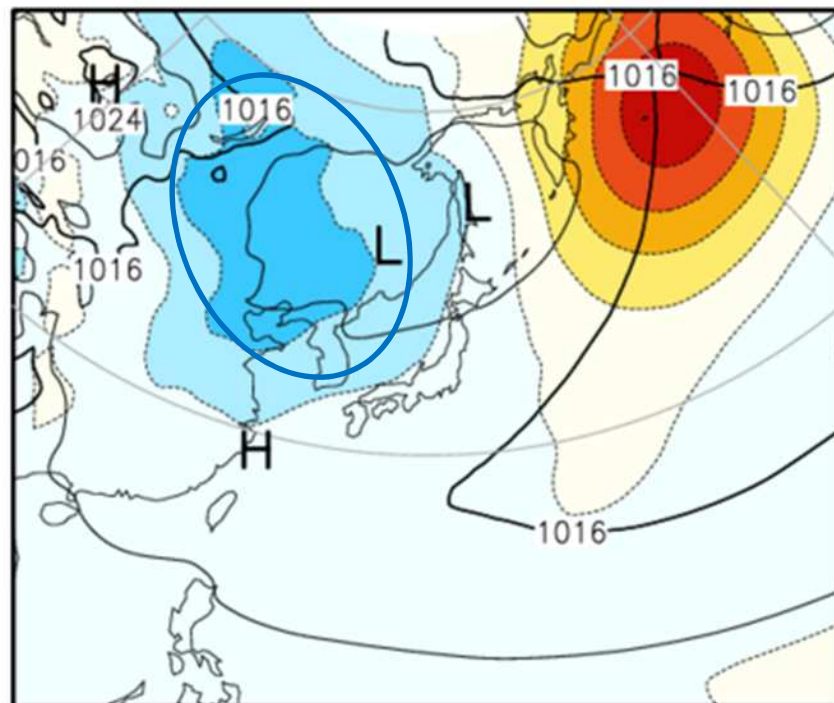
| 1か月 | | 気温(%) | 降水量(%) | 日照時間(%) | 降雪量(%) |
|-------|------|----------|----------|----------|--------|
| | | 低並高 | 少並多 | 少並多 | 少並多 |
| 北日本 | 日本海側 | 10:30:60 | 20:40:40 | 40:40:20 | |
| | 太平洋側 | | 30:30:40 | 40:30:30 | |
| 東日本 | 日本海側 | 20:40:40 | 40:30:30 | 30:30:40 | |
| | 太平洋側 | | 30:40:30 | 30:40:30 | |
| 西日本 | 日本海側 | 20:40:40 | 40:30:30 | 30:30:40 | |
| | 太平洋側 | | 30:40:30 | 30:40:30 | |
| 沖縄・奄美 | | 20:40:40 | 30:30:40 | 30:40:30 | |

| 気温 | 1週目(%) | 2週目(%) | 3~4週目(%) |
|-------|----------|----------|----------|
| | 低並高 | 低並高 | 低並高 |
| 北日本 | 10:10:80 | 20:40:40 | 20:40:40 |
| 東日本 | 10:10:80 | 40:30:30 | 30:30:40 |
| 西日本 | 10:10:80 | 40:40:20 | 30:30:40 |
| 沖縄・奄美 | 10:10:80 | 50:30:20 | 30:30:40 |

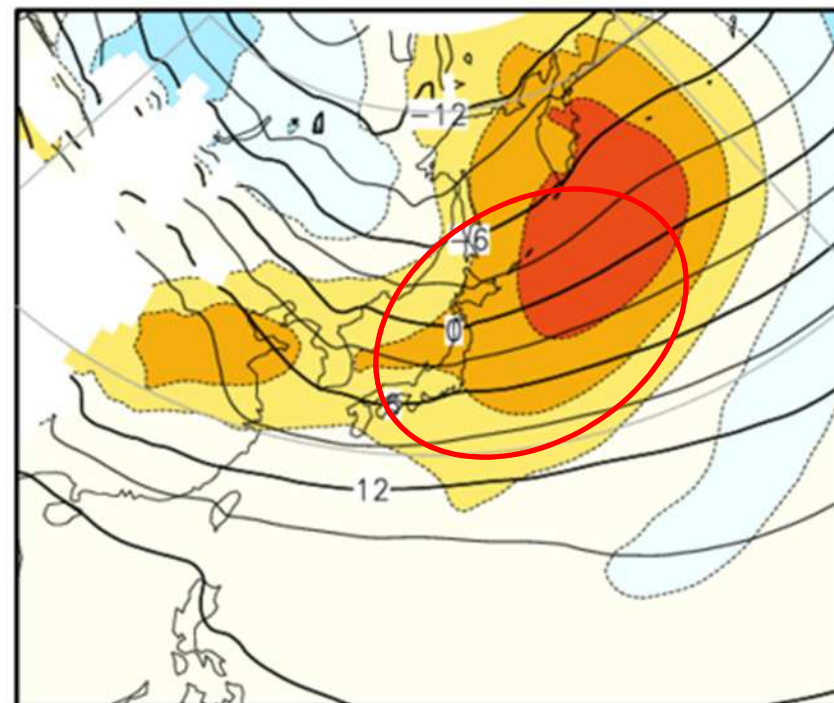
全般予報のポイント

- ・暖かい空気が流れ込みやすい時期があるため、向こう1か月の気温は北日本で高く、東・西日本と沖縄・奄美で平年並か高いでしょう。特に、期間のはじめは全国的に気温がかなり高くなる見込みです。西日本と沖縄・奄美では、2週目は寒気の影響を受けやすいため、気温がかなり低くなる所があり、期間の前半は気温の変動が大きいです。
- ・北日本日本海側では、低気圧や前線の影響を受ける時期があるため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

海面気圧(1か月)

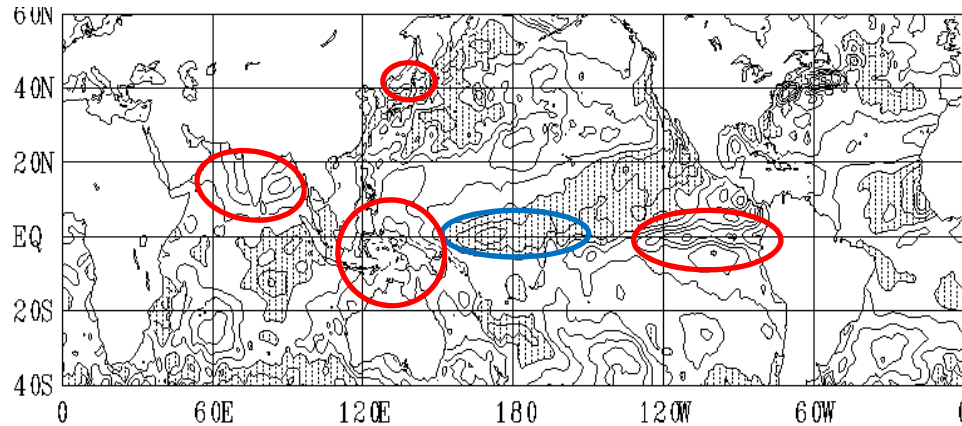


上空約1500mの気温(1か月)



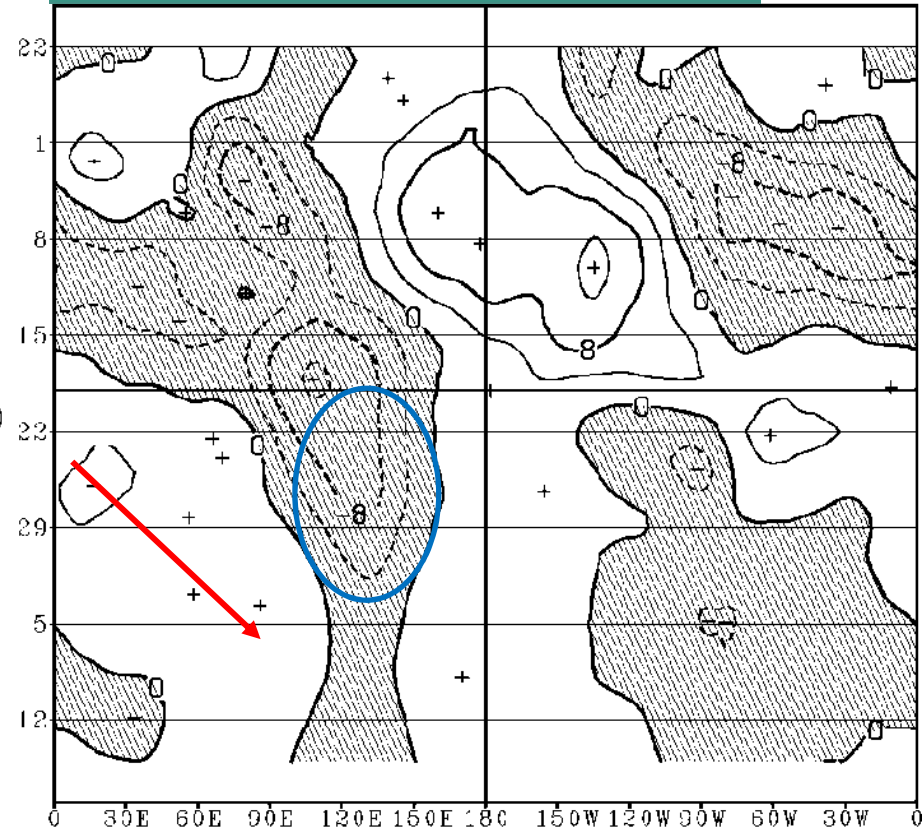
1か月平均の海面気圧(左図)は、中国東北区付近を中心に平年より低く、北日本日本海側では低気圧や前線の影響を受ける時期があるでしょう。
上空約1500mの気温(右図)は、北日本を中心に平年より高く、全国的に暖かい空気が流れ込みやすい時期があるでしょう。

SST偏差



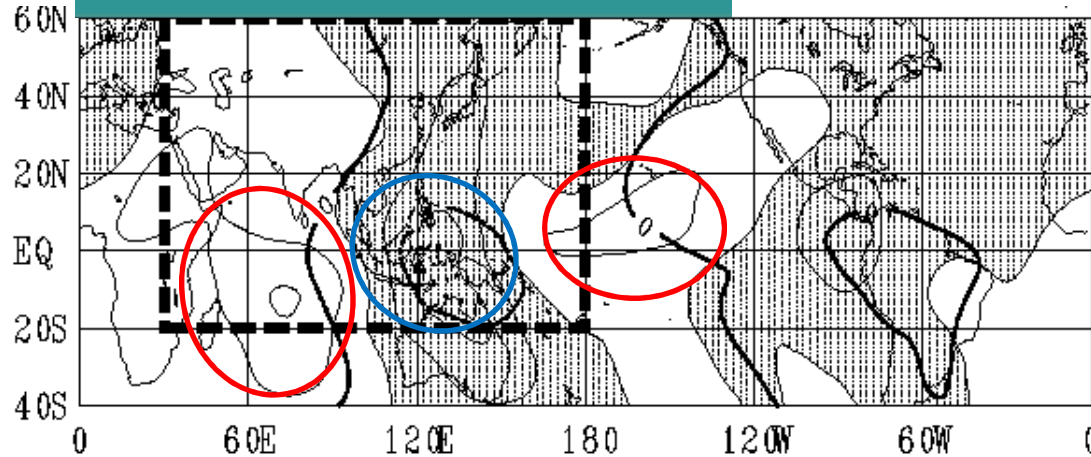
熱帯域では、インド洋北部とインドネシア付近、太平洋東部で正偏差、日付変更線付近で負偏差。日本付近では、日本海北部から日本の東にかけて正偏差。

200hPa速度ポテンシャル偏差



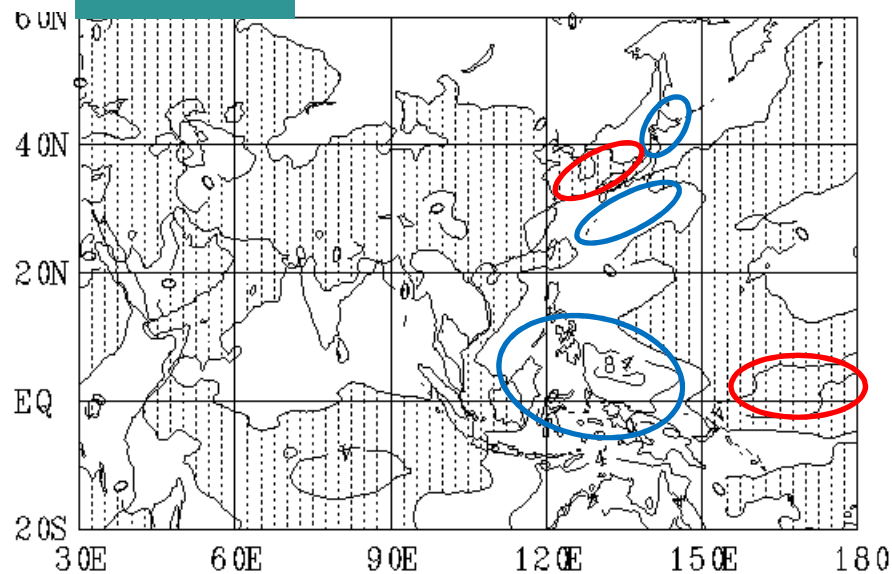
2週目にかけてインド洋付近で対流不活発、インドネシア付近で対流活発。3、4週目も弱いながら同様の偏差が続く。

200hPa速度ポテンシャル



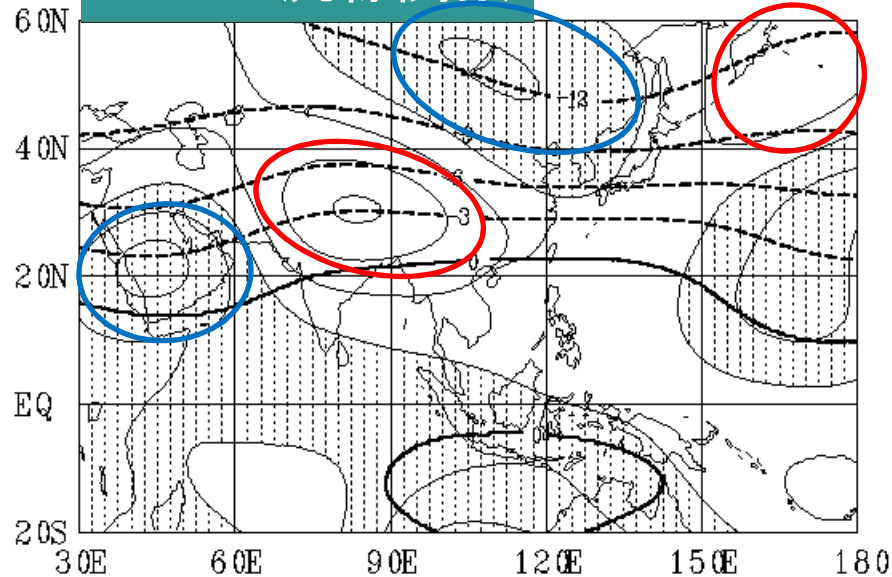
インドネシア付近で上層発散
偏差、インド洋と日付変更線
付近で上層収束偏差。

降水量



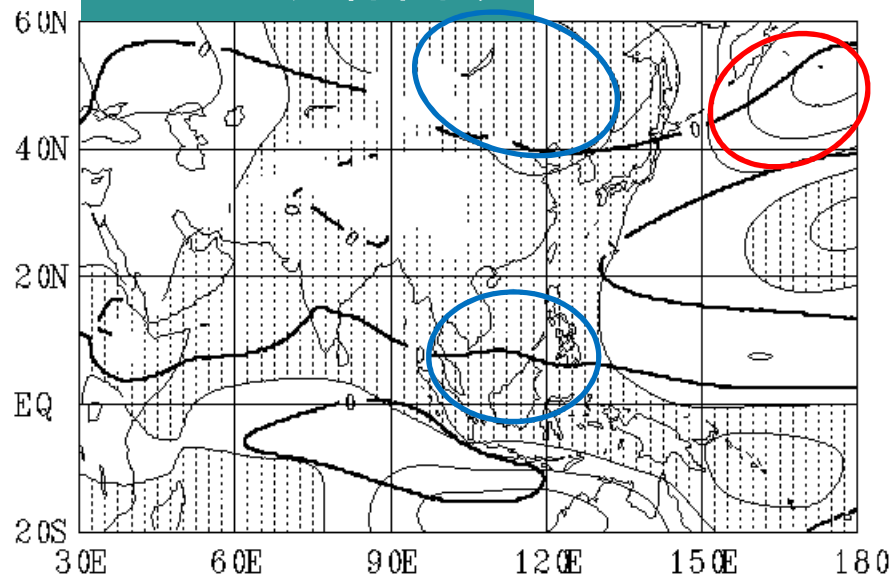
インドネシア付近で多雨偏差、
日付変更線の西で少雨偏差。
北日本付近と日本の南で多雨
偏差。東・西日本日本海側で少
雨偏差。

200hPa流線関数



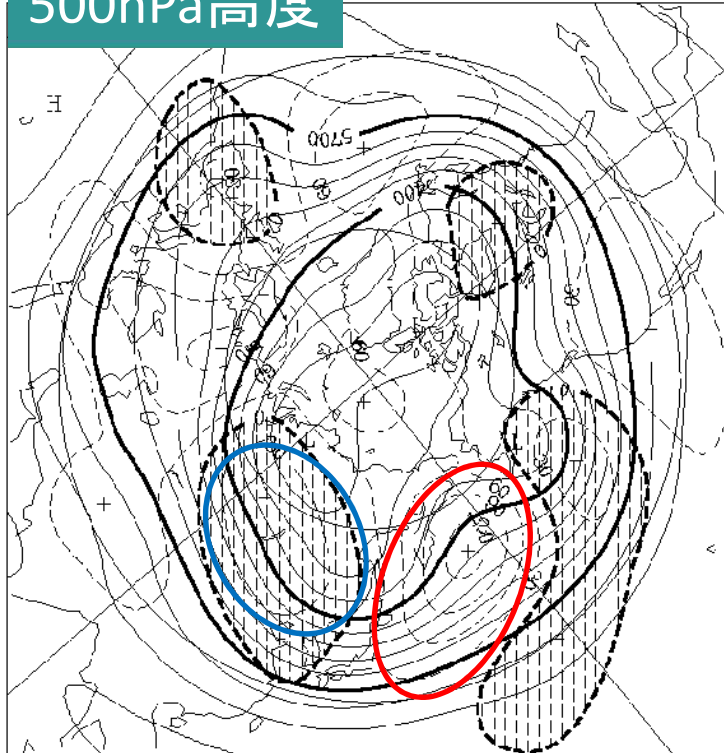
熱帯の対流活動に対応して、アラビア半島付近で低気圧性循環偏差、チベット付近で高気圧性循環偏差。バイカル湖付近で低気圧性循環偏差、カムチャツカの東で高気圧性循環偏差。

850hPa流線関数



熱帯の対流活動に対応して、南シナ海付近で低気圧性循環偏差。バイカル湖付近は低気圧性循環偏差、カムチャツカの東は高気圧性循環偏差で、順圧的な鉛直構造。

500hPa高度



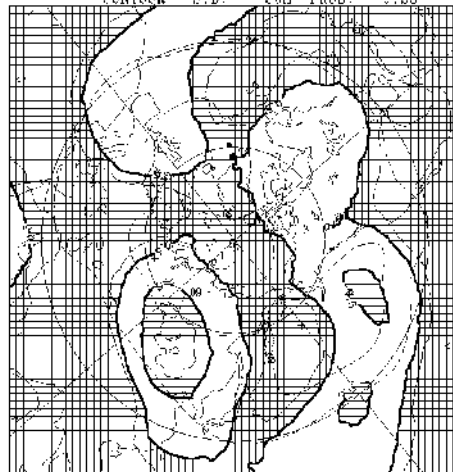
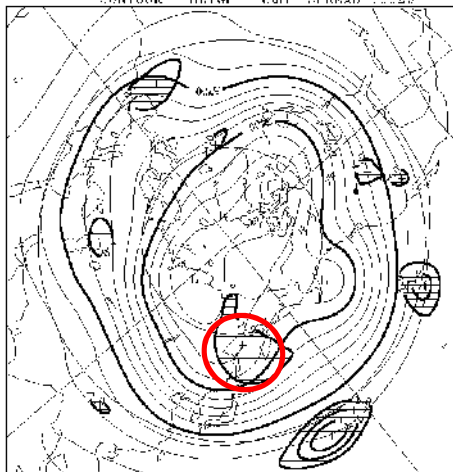
バイカル湖付近で負偏差、アリューシャン付近で正偏差。これらの境目のオホーツク海付近でスプレッドが大きい。

500hPa SPREAD AND HEIGHT

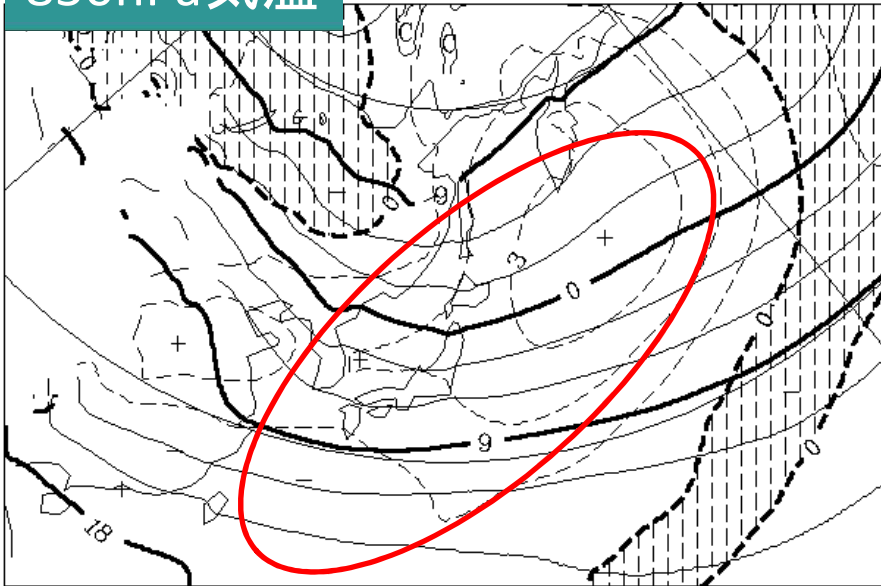
PROJ. OF HEIGHT ANOMALY AND S.D.

CONTOUR HEIGHT: 600m SPREAD: 10.25

CONTOUR S.D.: 20m PROB: 10.25

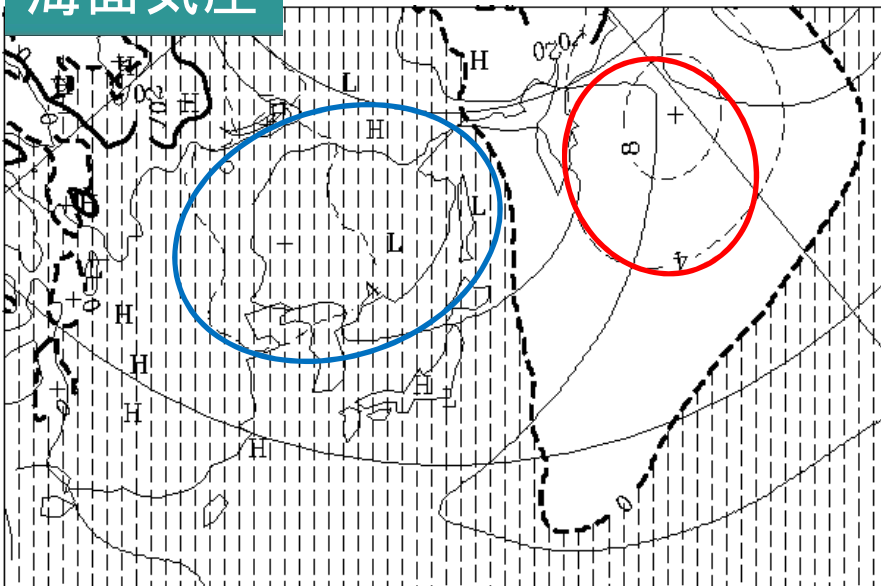


850hPa気温



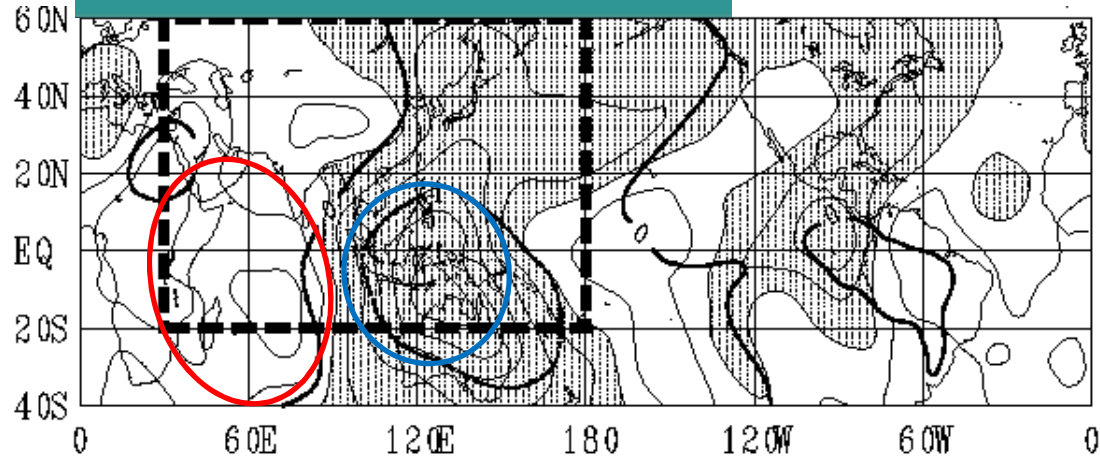
千島の東を中心に、日本付近は正偏差。

海面気圧



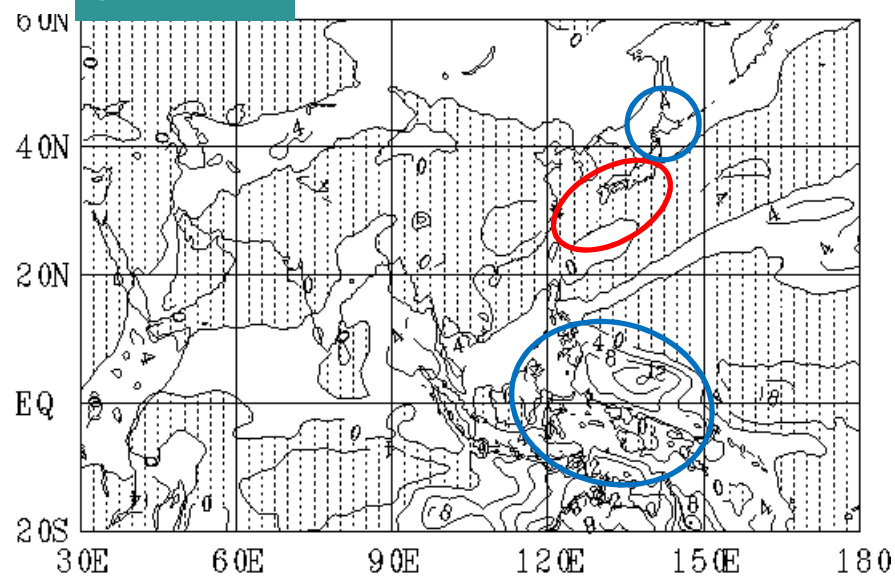
上層の偏差パターンと対応して、カムチャツカの東で正偏差でアリューシャン低気圧が弱い一方、中国東北区付近を中心に負偏差で、北日本日本海側を中心に低気圧や前線の影響を受ける時期がある。

200hPa速度ポテンシャル



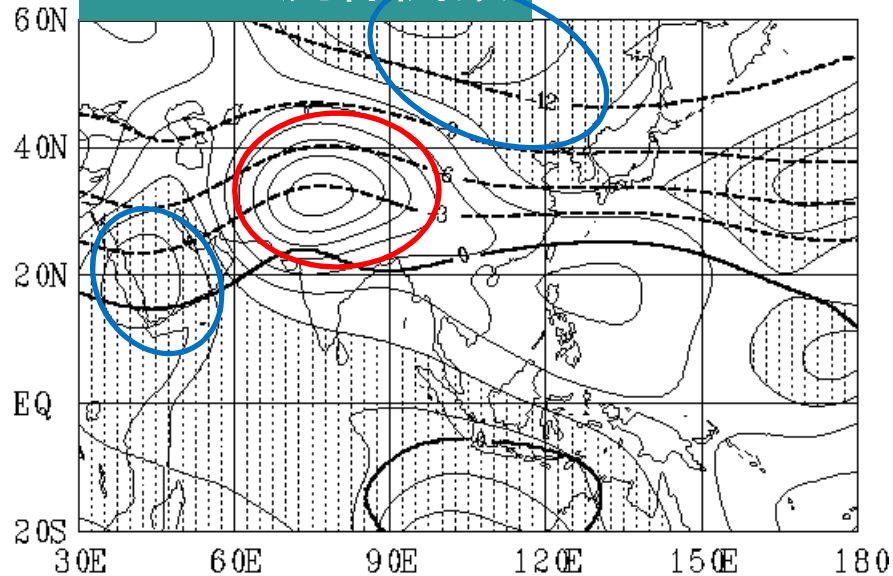
インド洋西部で上層収束偏差、インドネシア付近で上層発散偏差。

降水量



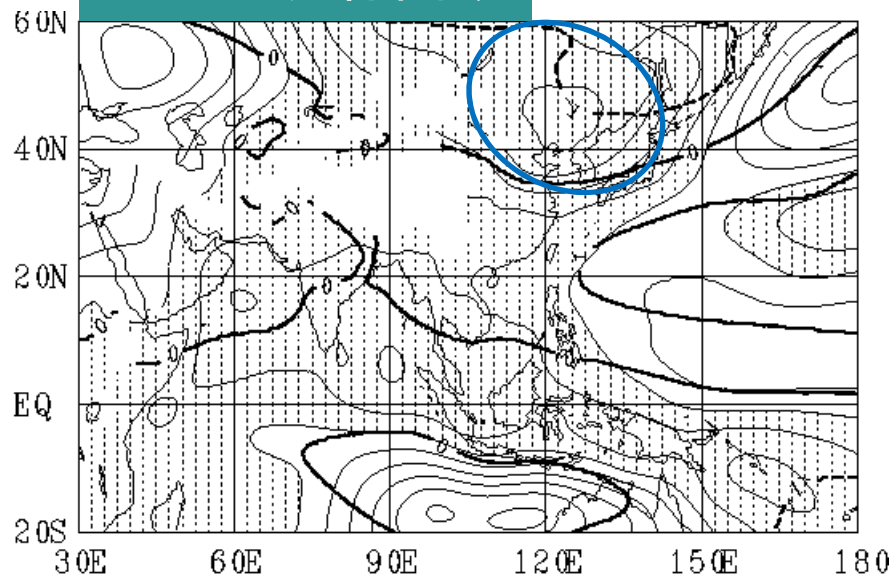
インドネシア付近で多雨偏差。
日本付近は、北日本で多雨偏差、東日本から沖縄付近で少雨偏差。

200hPa流線関数



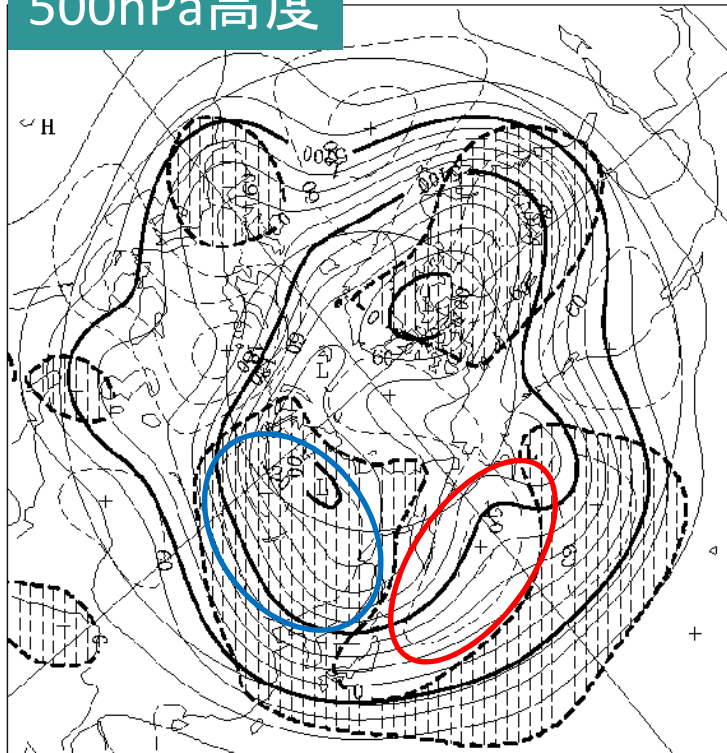
アラビア半島付近で低気圧性循環偏差、中央アジアで高気圧性循環偏差。バイカル湖付近で低気圧性循環偏差。

850hPa流線関数



中国東北区付近で低気圧性循環偏差で、順圧的な鉛直構造。

500hPa高度

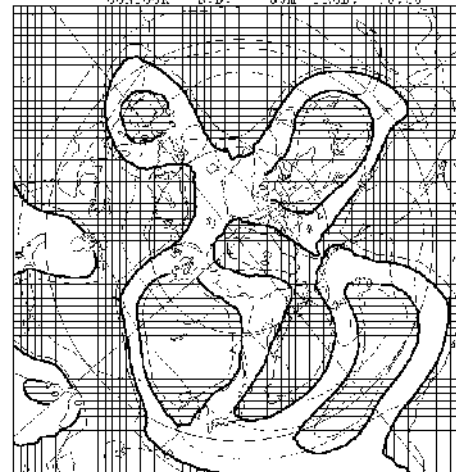
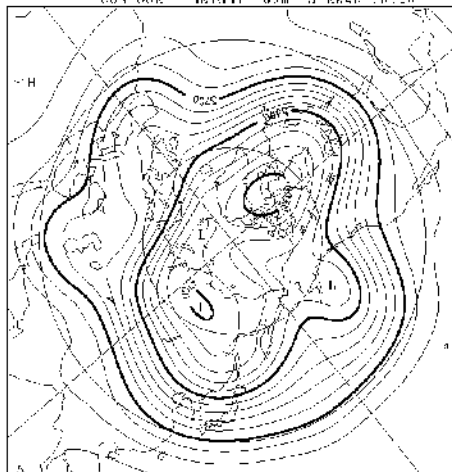


500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. GP H. ANOMALY AND S.D.

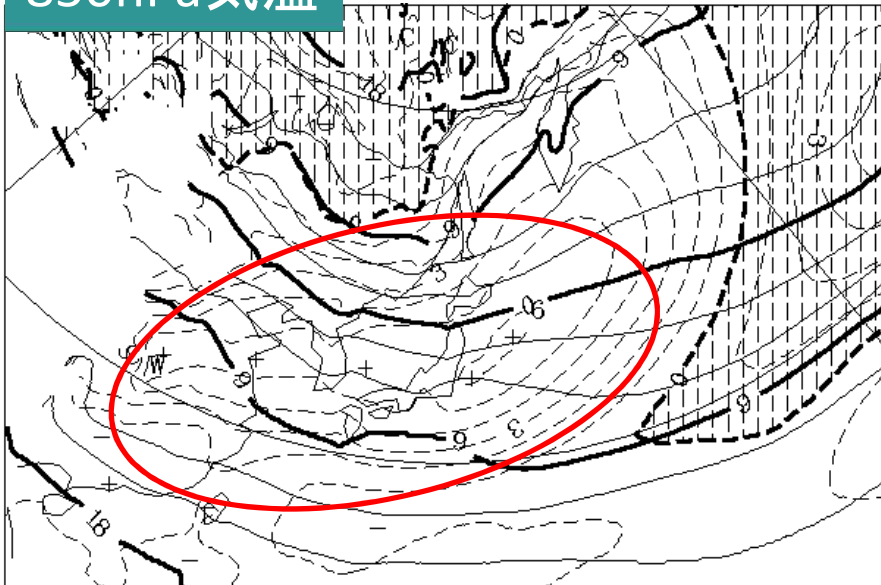
CONTOUR HEIGHT: 63m SPREAD: 0.20

CONTOUR S.D.: 33m ANOM.: 0.25



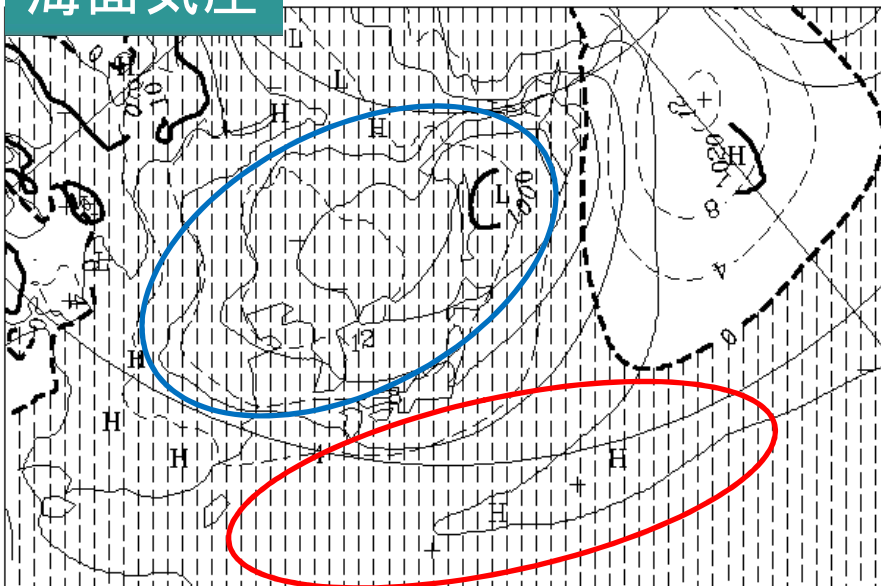
中央シベリア付近に極渦のひとつがあり、日本海北部にトラフがのびている。
一方、アリューシャン付近はリッジで本州付近まで正偏差。

850hPa気温



日本付近は大陸からのびる正偏差に覆われる。

海面気圧



サハリンから華北付近を中心に低気圧が強く、低気圧に向かって全国的に南から暖かい空気が流れ込みやすい。
また、北日本は低気圧の影響を受ける時期がある。
一方、東日本以南は日本の南の高気圧に覆われやすい。

想定される天候

- 北日本日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。
- 北日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。
- 東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- 沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

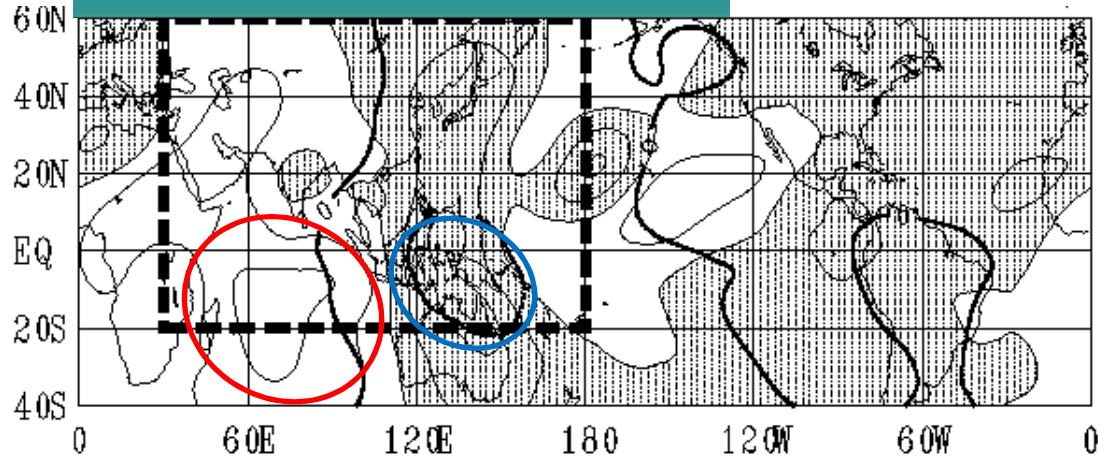
<気温>

- 暖かい空気が流れ込みやすいため、全国でかなりの高温。

<天候>

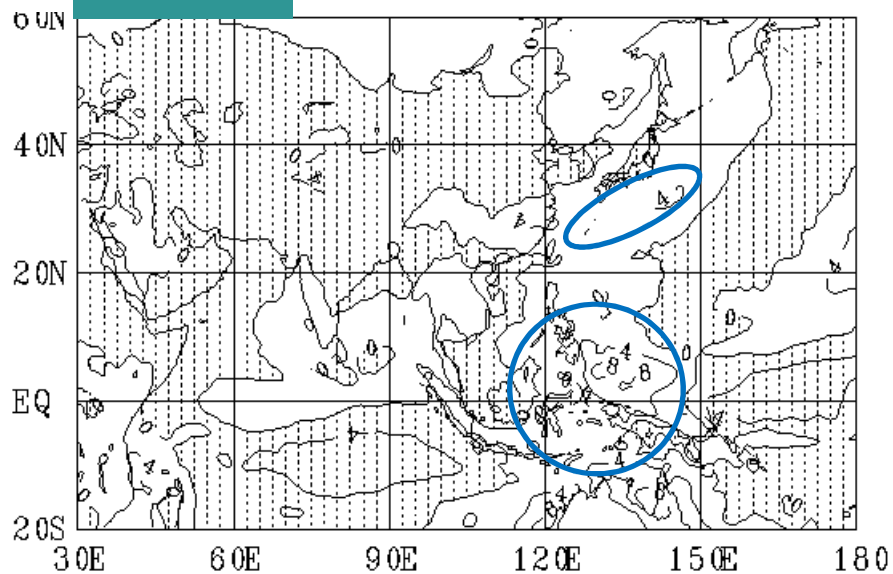
- 北日本太平洋側は、平年程度の天候を見込むが、低気圧や前線の影響を受ける時期があり、やや多雨。
- 沖縄・奄美は、高気圧に覆われやすいが、前線や湿った空気の影響を受ける時期があり、並雨。

200hPa速度ポテンシャル



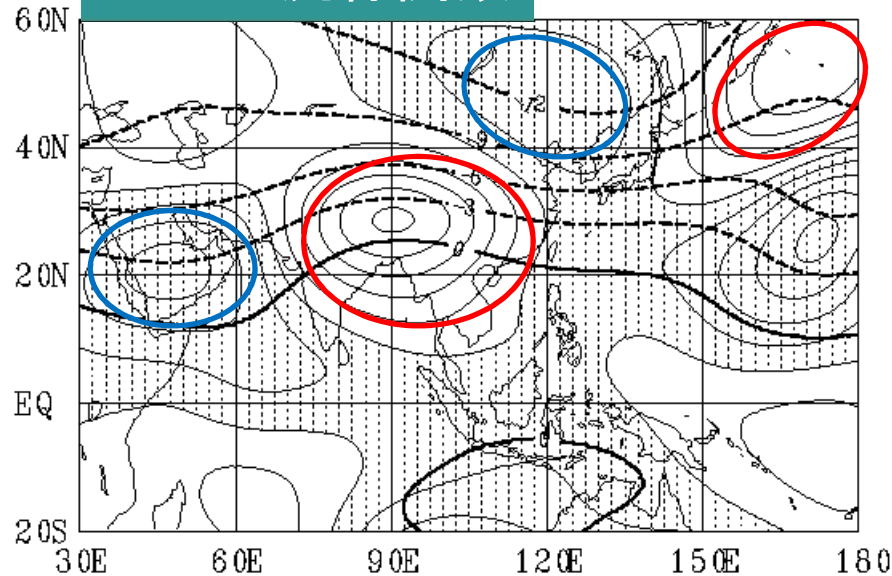
インド洋で上層収束偏差、
インドネシア付近で上層発散
偏差。

降水量



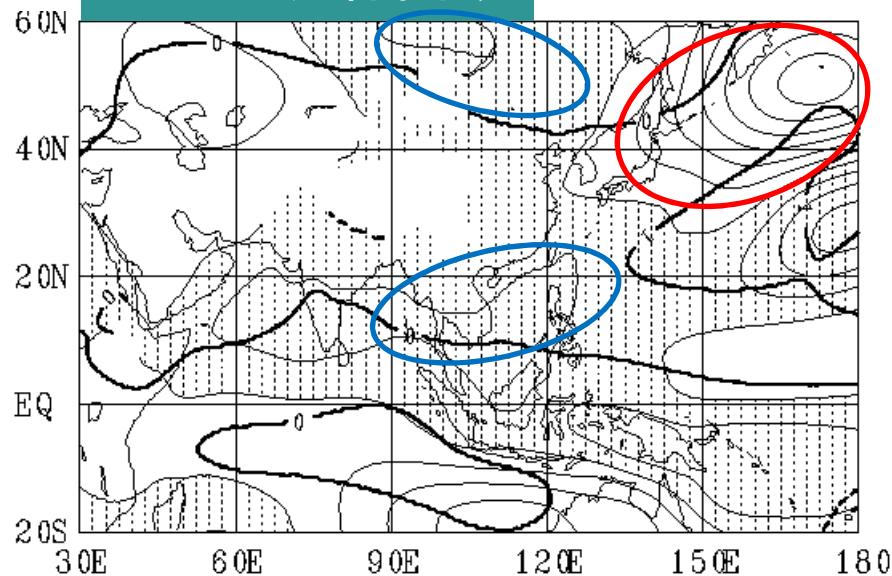
インドネシア付近で多雨偏差。
日本の南を中心に多雨偏差。

200hPa流線関数



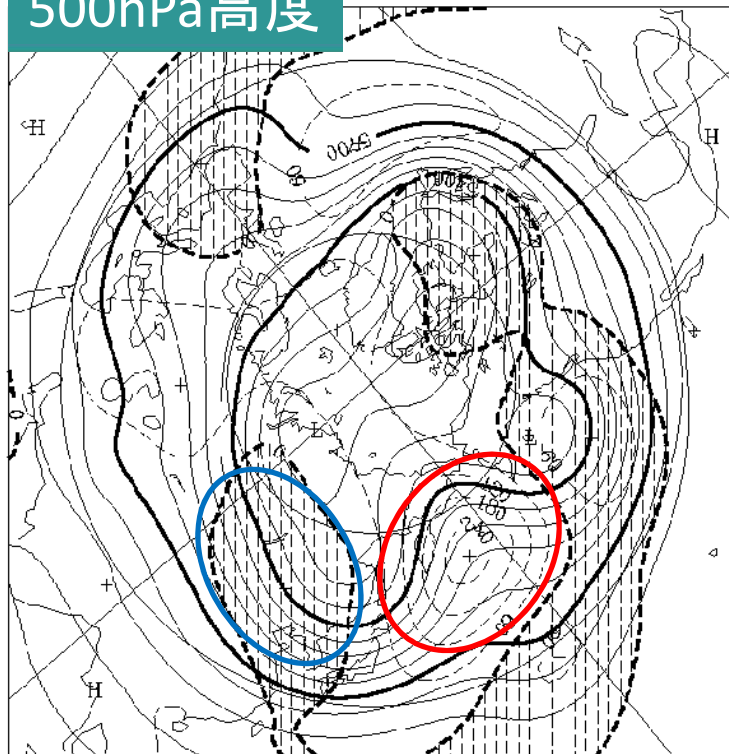
熱帯の対流活動に対応して、アラビア半島付近で低気圧性循環偏差、チベット付近で高気圧性循環偏差。中国東北区付近で低気圧性循環偏差、カムチャツカの東で高気圧性循環偏差。

850hPa流線関数



南シナ海付近で低気圧性循環偏差。バイカル湖付近は低気圧性循環偏差、カムチャツカの東は高気圧性循環偏差で、順圧的な鉛直構造。日本の南や太平洋側は南東風偏差となり、湿った空気が流れ込みやすい時期がある。

500hPa高度

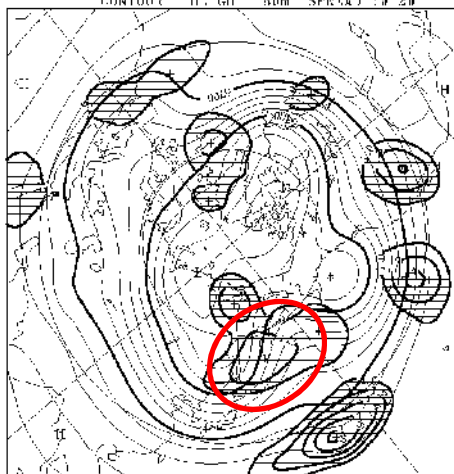


500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF FLAKOM.Y AND S.D.

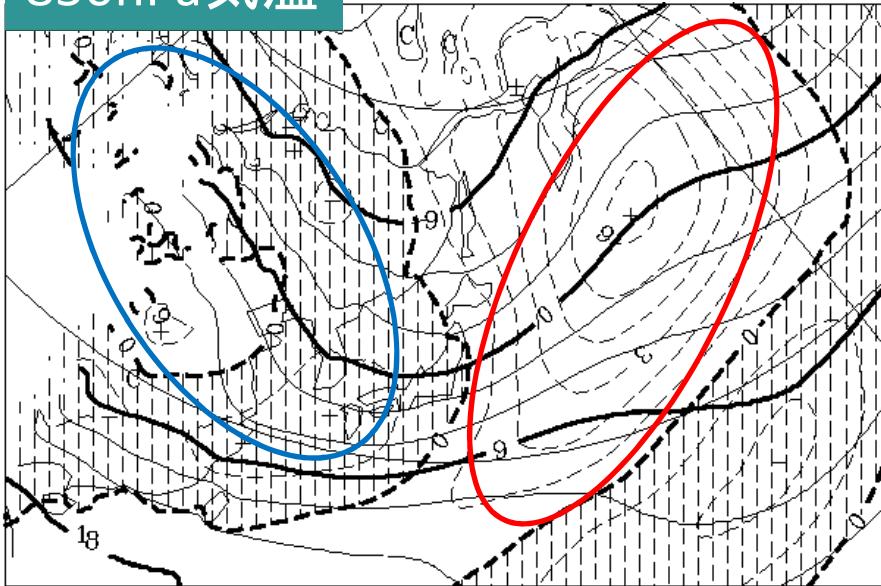
CONTOUR HEIGHT 80m SPREAD : 0.20

CONTOUR S.D. : 30m 2.00 : 0.20



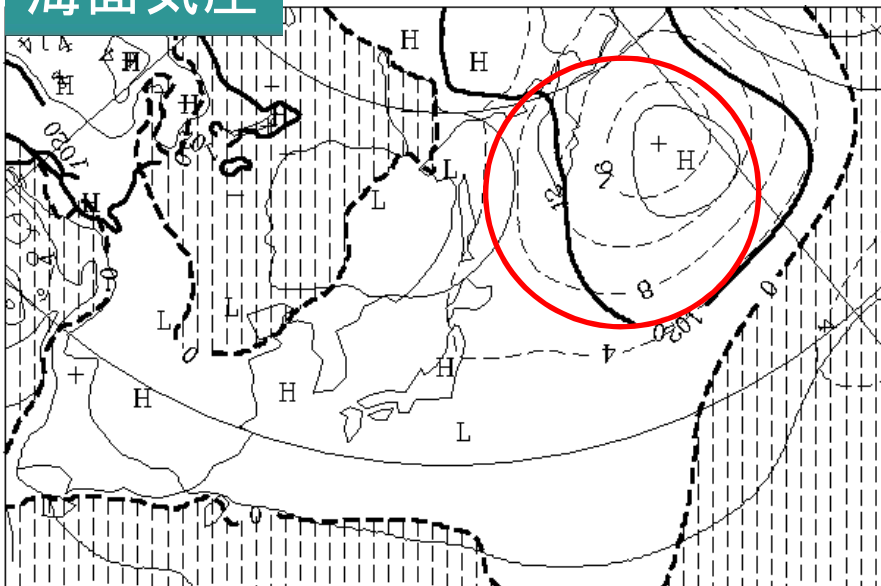
バイカル湖付近で負偏差が続く一方、アリューシャン付近のリッジが発達。
ただし、カムチャツカ半島付近でスプレッドが大きく、トラフやリッジが日本にどの程度影響するか不確実性が大きい。

850hPa気温



日本のはるか東で正偏差が強い一方、大陸から西日本と沖縄・奄美付近へ負偏差が広がる。

海面気圧



カムチャツカの東で正偏差が強く、高気圧となっている。北日本は寒気の影響を受けにくい。

想定される天候

- ・ 北・東・西日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- ・ 北・東・西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- ・ 沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わりますが、前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

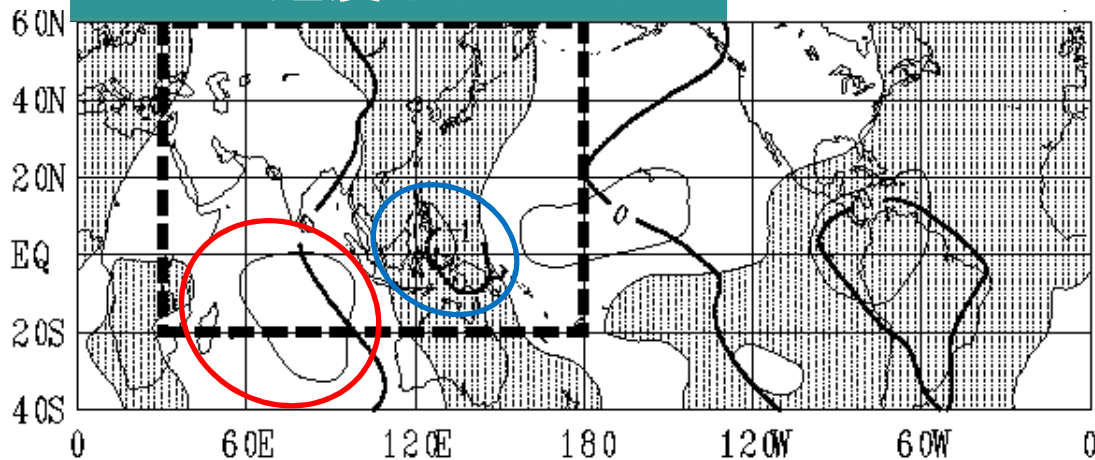
<気温>

- ・ 北日本は暖かい空気に覆われやすいため高温傾向。
- ・ 東日本はほぼ平年並。
- ・ 寒気の影響を受けやすいため、西日本は低温傾向、沖縄・奄美は低温。かなりの低温となる所もある。

<天候>

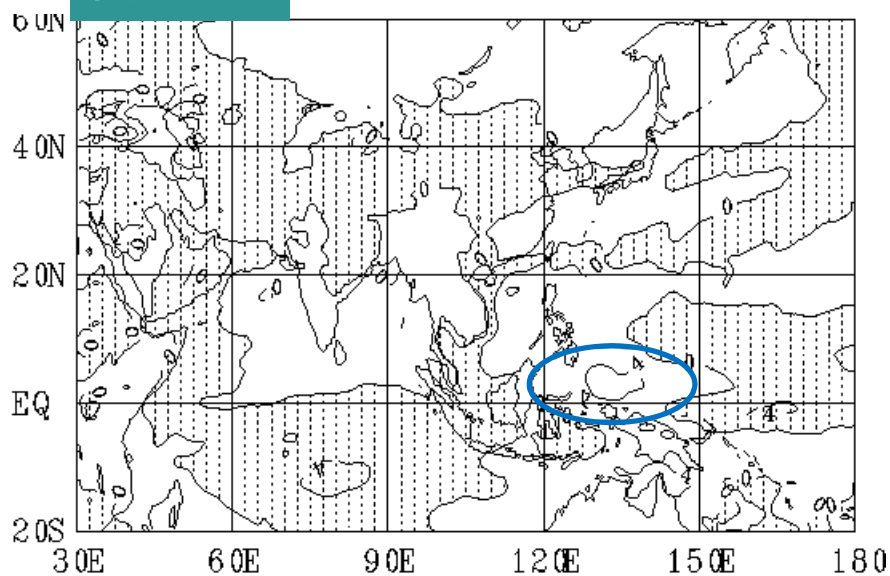
- ・ 北日本太平洋側は、平年程度の天候を見込むが、湿った空気の影響をやや受けやすい。
- ・ 東・西日本太平洋側は、平年程度の天候を見込むが、前線や湿った空気の影響をやや受けやすい。

200hPa速度ポテンシャル



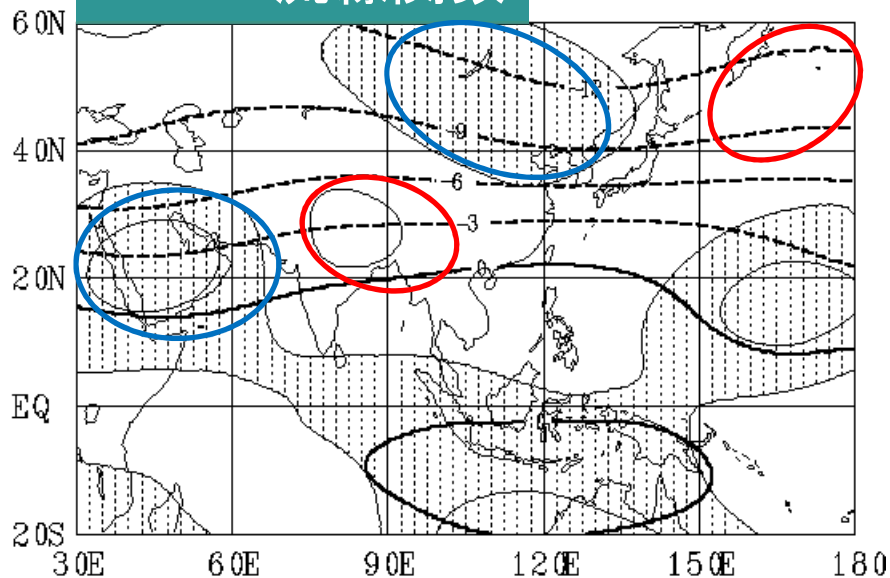
インド洋で上層収束偏差、
インドネシア付近で上層発散
偏差だが、偏差は小さい。

降水量



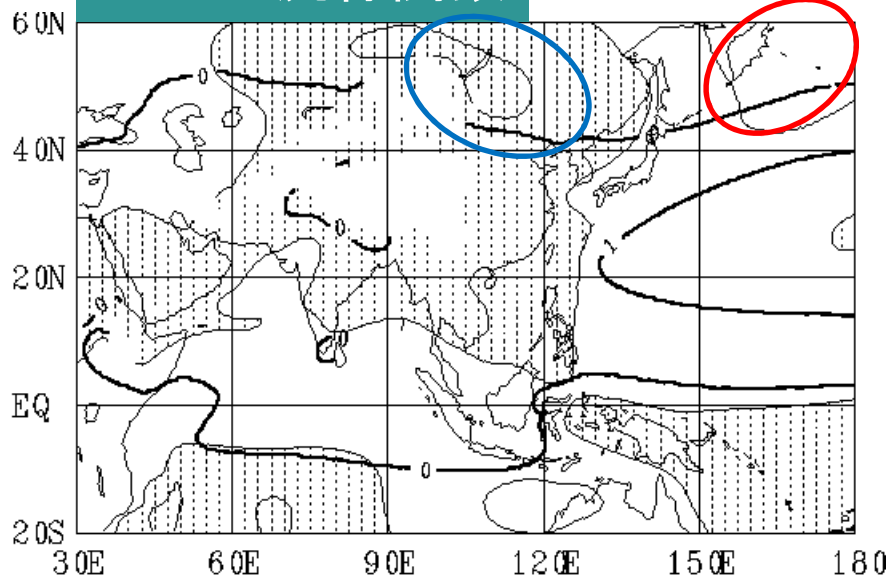
インドネシア付近で多雨偏差。

200hPa流線関数



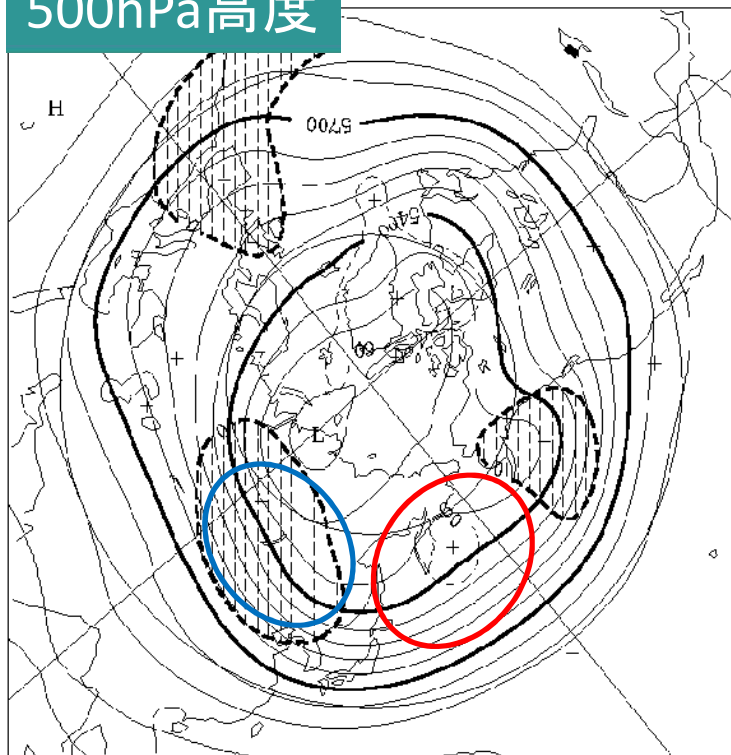
アラビア半島付近で低気圧性循環偏差、チベット付近で高気圧性循環偏差。中国東北区付近で低気圧性循環偏差、カムチャツカの東で高気圧性循環偏差。

850hPa流線関数



バイカル湖付近は低気圧性循環偏差、カムチャツカの東は高気圧性循環偏差で、順圧的な鉛直構造。

500hPa高度

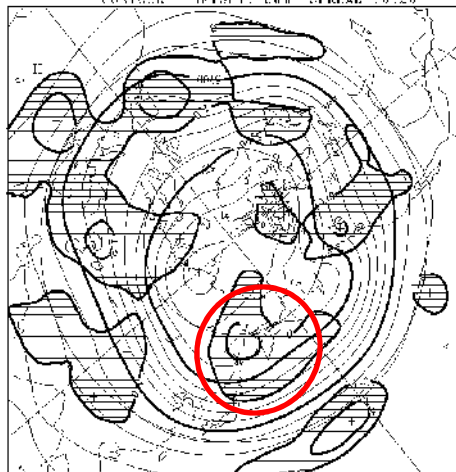


バイカル湖付近の負偏差と、アリューシャン付近の正偏差が続く。

ただし、オホーツク海付近を中心にスプレッドが大きく、特にアリューシャン付近のリッジについては不確実性が大きい。

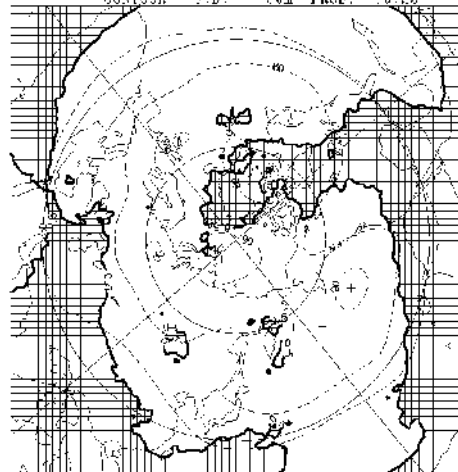
500hPa SPREAD AND HEIGHT

CONTOUR HEIGHT: 60m SPREAD: 0.20

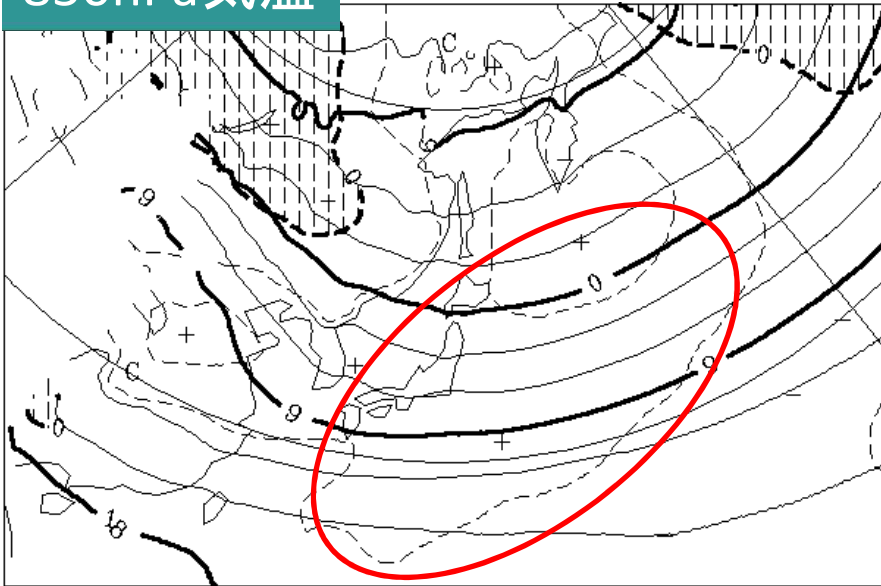


PROB. OF T. ANOMALY AND S.D.

CONTOUR S.D.: 20m PROB.: 0.25

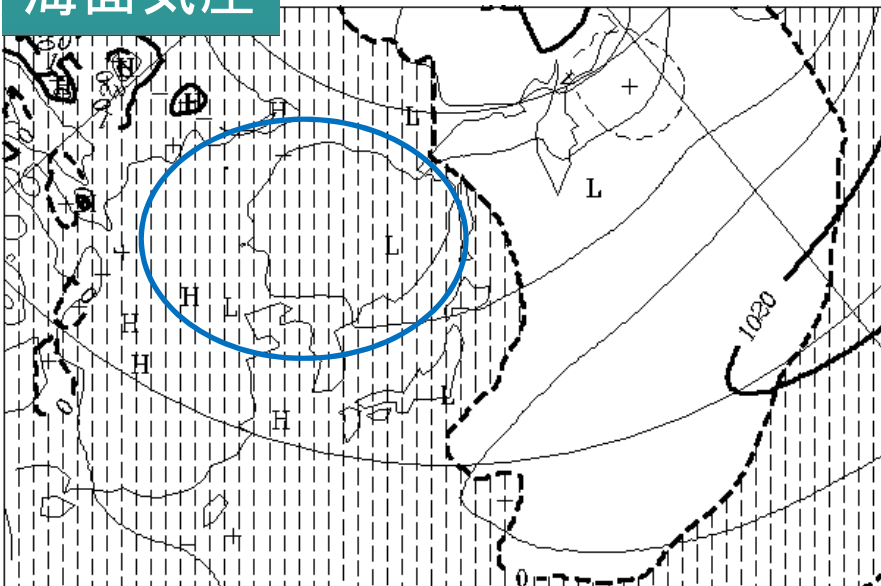


850hPa気温



日本の東を中心に正偏差。

海面気圧



中国東北区付近を中心に負偏差だが、日本付近の偏差は小さい。

想定される天候

- 北・東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- 北・東・西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

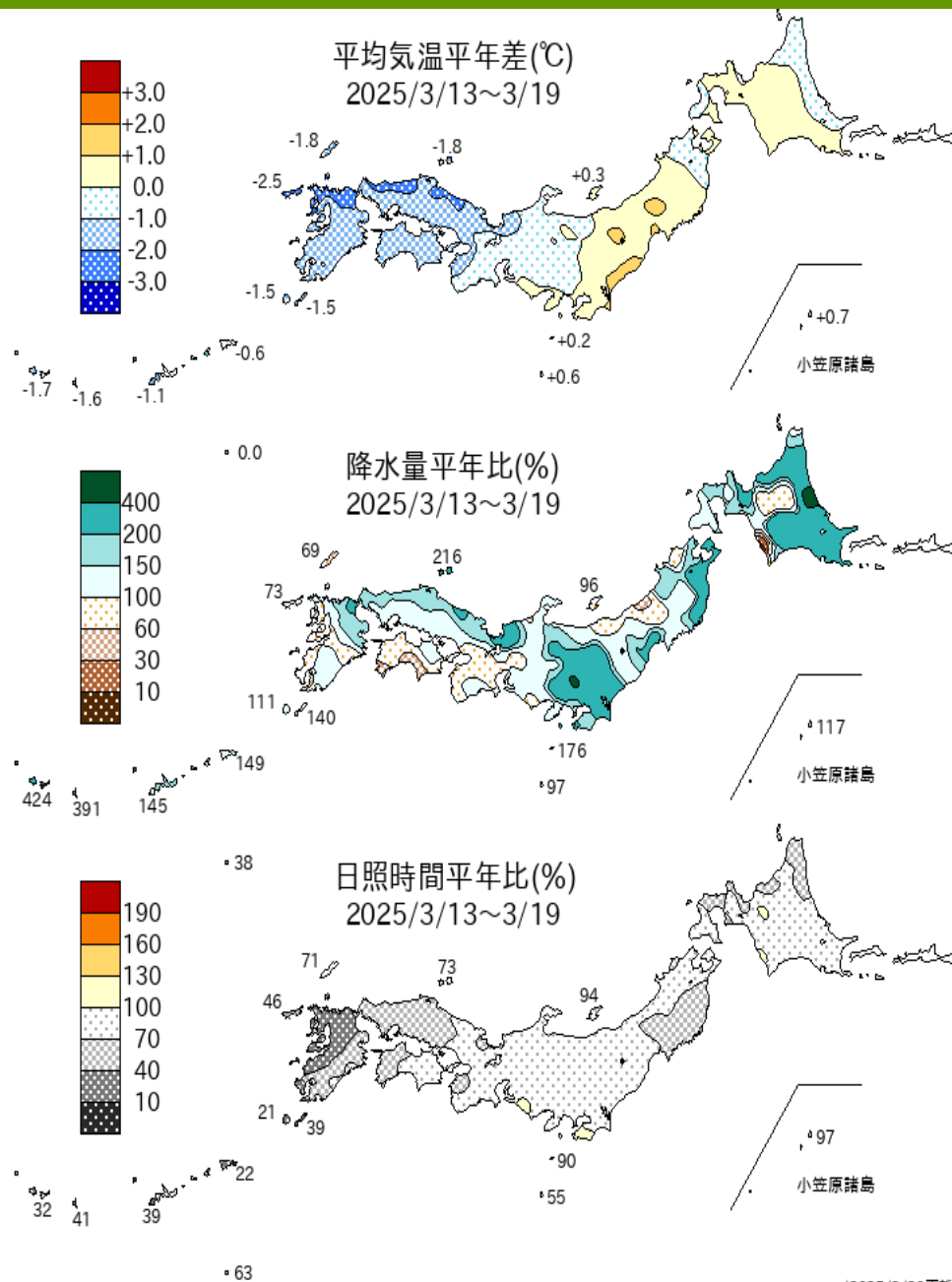
<気温>

- 北日本は暖かい空気に覆われやすいため、高温傾向。
- 東・西日本と沖縄・奄美はほぼ平年並。

<天候>

- 全国で平年程度の天候を見込む。

最近1週間の天候経過



最近1週間(3月13日~3月19日)は、低気圧がたびたび日本付近を通過したため、全国的に日照時間は平年を下回り、降水量は平年を上回った所が多くなりました。

気温は、13日から14日頃にかけては全国的に暖かい空気に覆われましたが、17日から19日頃にかけては西日本と沖縄・奄美を中心に寒気の影響を受けたため、北日本では平年を上回り、東・西日本と沖縄・奄美では平年を下回りました。